

CELERY



No.20
1995

CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学 中村学園短期大学 / 広報

児童学科3年、オペレッタ発表会より

MESSAGE

卒業していく人々へ

「出会いから学んだことを大切に」

三月ともなれば、日本の各地で学校の卒業式がみられます。これは、日本の学校教育法という法律で、学校における卒業は



学長 山元寅男

三月と定められているからです。中村学園大学並びに中村学園短期大学においても、三月は、卒業していく学生の皆さんとの別れの時でもあります。

四年間あるいは二年間、共に勉学に明け暮れた学生の皆さんを大学から送り出すのは、私共教職員一同にとり、いささか感傷的にならざるを得ません。しかし、卒業していくということからは、大学という温床から、厳しい社会への巣立ちを意味しますから、その前途が明るく広大な世界への無事の飛翔を願ひ、拍手と祝福の笑顔で送り出したいと思ひます。

混乱と不安定な時期に学ぶ

皆さんが本学で学ばれた期間には、国際政治の上でも、また、国内の政治経済の上でも、混乱と不安定な時期にありました。この期間にはまた、自然災害の恐ろしさを度々見聞したことも

特記されるべきことでありました。したがって、皆さんの学生生活にも、このような世の中の状況が、不安の影響を落としたかも知れませんが、就職状況も、大変厳しいものがありました。

しかしながら、このような時代の中にあっても、皆さんは、学園の中村ハル先生の建学の精神に支えられ、豊かな人間性の涵養と、専門的な知識と技術の研鑽に努力してこられました。このようにして得られた皆さんの学識と見識が、今日の不安定で困難な社会の中で発揮されてこそ、明るい未来社会の建設に貢献できることは明らかであります。そのためには、皆さんお一人お一人が、社会の要請に応えていくために努力が必要であります。中村ハル先生のご遺訓であります「努力の上に花が咲く」を今一度噛みしめて、今後社会生活の中で直面するであろう幾多の困難な問題の解決に、積極的に努めて頂きたいと願っております。

生涯学習の心掛けを忘れずに

皆さんが本学で学ばれた知識や技術は、これから社会に出られ、それぞれの専門家として、活躍されることに必要な基礎にしかすぎません。実社会で存分に活躍されるには、これらの基礎の上に、経験から生まれた知識と技術を、さらには、学問の進歩に伴う最新の知識や技術を修得しながら積み重ねていく態度を、常に身に付けることが大切であります。すなわち、生涯学習の心掛けを忘れてはなりません。

皆さんは本学に在学中、多くの人々との出会いがありました。素晴らしい先生方、実習先の先生方と幼児・児童生徒達、かけがえのない友情を結んだ学友との出会いがありました。その中のどれをとっても、感動と学ぶことの多かつた出会いであったと思ひます。これらの出会いから学んだことを大切にしながら、人としての皆さんの生き方の糧として頂きたいと思ひます。

卒業が新たなスタート

卒業生からの声

●主婦と学生二足のワラジ

渦原 暁子

児童学科・児童学専攻



この二年間は、ハードスケジュールでしたが、可能な限り講義や実習に前向きに取り組んだつもりです。土偶作りが楽しかった「図画工作Ⅱ」、児童教育学専攻と児童学専攻との合同で活発に討論し合った「児童学研究法」をはじめ、多くの教授方の熱意で、日々発見の連続でした。卒業論文のためにアンケートを作成し、コンピュータ集計に悪戦苦闘したこともありました。故高山教授「声楽」のオペレッタ指導の最終学生となっ

まわり道の効用

●大学院への進学を決めた

(日本女子大学大学院・家政学研究科進学)

河野 美智子
児童学科・児童学専攻



たことは、大変残念でしたが、創作の素晴らしさを体験することができました。

大学では有形無形多くのものを得ましたが、とりわけ、人間的な交流を深めることができたのは大きな収穫です。私のために何かがと指導、支援、アドバイスを下さった先生方、大学教職員の方々、そして学生達に今は感謝の気持ちで一杯です。

日本では「第二の人生」といって、定年退職後を指しますが、欧米では普通二十歳を指すといえます。一般の学生の皆さんの卒業が「第二のスタート」ならば、私は「第三のスタート」に立ったといえるでしょう。卒業後も児童福祉について、さらに研究を続けたいと思っております。

最後に若い学生の皆さんに一言「自分と異質な人間と接し、他者を発見し、自己発見を引き出し、欲しい。」

私の進路選択は、高校一年生の終わりから始まります。理系に進みながらも、自分に合うことは何かを探しだすことができず、三年生の頃には進路を変え、「面白そうだな」と思って入学したのが、児童学専攻です。白紙の状態だったのが逆に良かったのか、面白い(と思う)ことをそのまま面白いと受けとめることができました。そして心理学に興味がわき、もっと学びたいと思うようになってきました。そして大学院への進学を考えるようになりました。

私は、人あまり公言して物事を進めるほうではないのですが、それでも迷ったり、自分自身がわからなくなっている時に、相談にのってくれる友達がいることが大きな支えとなり、大学院へ合格することができました。

時々思うのですが、「誰かに勝とう」と必死になるのではなく「希望をかなえよう」と、望んで

いることに真正面から向かって行くほうが、無駄なストレスがない、その分よいのではないのでしょうか。

まわり道ばかりして、これまで随分損をして来た、などと思う人がいたとしても、まわり道をしたからこそ得られる何かがきっとあると思ひます。

私も今では「まわり道もなかなか味があって良かったな」と思えるようになってきました。



就職活動レポート

あきらめずによかった

(三菱樹脂福岡支店内定) 短期大学・家政科 西原 淳



活動を始める時、就職難と騒がれていても、私にはピンとこなかったのですが、資料を請求しても採用が無かったり、東京に行かないと受験資格さえも与えられないような状況を目のあたりにし、厳しさを感じるようになりました。第一希望はレコード会社で、東京へ受験に行きましたが、倍率は何千分の一という状況です。現実を知り、福岡の企業に目を向けた頃は、すでに七月になっていました。学校での説明会やセミナーには全て参加し、自由応募や学校推薦には積極的に申し込むようにしました。

九月には自己開拓した企業に内定をいただき、これで活動を止めてしまいたいと思いましたが、自分で納得のいく働きをしたいと思う会社ではなかったため、活動を再開しました。しかし、学校推薦の希望は何度申し込んでみてももらえず、あきらめようかと思ったりもしましたが、学生課の方に励まされ、いつかは順番が回ってくるだろうと思いつき続けました。

新聞の求人案内や求人情報誌にも目を通し、新卒の採用を問い合わせたりもしました。周りの人が内定していき、焦る中、「今度こそは」との思いで出した八件目の出願で、学校推薦をいただき内定することができました。くじけそうになったこともありましたが、あきらめずに活動を続けて、本当によかったと心から思います。そして励ましてくださった先生方、家族、友人に感謝します。

岡部裕子さんの活動報告

時期	活動	感想
2年生 8月	自主実習 いずみ保育園	先輩方の実習報告書を見て「家庭的な雰囲気」というところにひかれて依頼。
3年生 6月	正規実習 幼稚園	家から近く、過去に大学生を採用された園から選んで依頼する。
9月	正規実習 保育園	求人は来たことがなかったが、家から近いということを実習をお願いする。
10月	正規実習 身障者施設	以前の自主実習で丁寧な指導を頂いたこと、いずみ保育園に就職を希望していたので、卒論の調査(子どもの描画収集)を依頼。
3月	自主実習 保育園	求人は来たことがなかったが、家から近いということを実習をお願いする。
4年生 5月	いずみ保育園に卒論の協力を依頼する。	以前の自主実習で丁寧な指導を頂いたこと、いずみ保育園に就職を希望していたので、卒論の調査(子どもの描画収集)を依頼。
6月	正規実習 養護施設	家から通える範囲で中村学園に求人を出された園から選んで依頼。
7月	(一回目の描画収集)	子供の理解を深めるためと卒論の調査をさせて頂いているので、お手伝いに向う。
8月	(二回目の描画収集)	知り合いの先生から「いい園だからぜひ一度おいで」と強い勧めがあり伺う。
9月	いずみ保育園運動会の手伝い 学校推薦の会社内定 活動を止める	過去に本学(大学)から採用実績のある園から選んで実習を依頼。
10月	正規実習 幼稚園	
11月	いずみ保育園採用試験	

自分を知ってもらおう

(いずみ保育園内定) 大学・児童学科 岡部裕子



小さな頃から保育に憧れ、児童学科に入学しました。実習に行き「向いてないのかも知れない」と思ったこともありますが、保育という職業のやりがいを見つけたことがありました。

内定を頂いた保育園は、二年生の時に、自主実習をさせて頂き、初めて「先生」と呼ばれた私にとっては特別な園です。

この時は、自分の勉強のための実習でした。しかし、それから他の園でも実習させて頂くうちに、園の方針等で随分と異なる保育内容にビックリすると共に、いずみ保育園で就職したいという気持ちがかなり強まりました。

卒論で子どもの絵を集めるために、保育園に協力をお願いしました。園を訪問するうちに、園長先生からいろいろなお話をお聞きする機会がありました。中でも、採用について「話をしたことのある学生は、安心して採用できる」と言われたのが、印象に残っています。

これから就職活動をする方は、自分の進路を幼稚園や保育園と決めたら、実習や行事の手伝い等、訪問の機会をたくさん作る事が大切だと思います。それもただ実習に行くだけでなく、園の方針と自分の持つ保育観が合うかどうかを判断したり、園長先生や指導担当の先生に質問したりして、自分の熱意を知ってもらえるように心掛ける事が大切だと思います。

何故栄養士にならないのかと尋ねられた

(ホシザキ北九内定) 大学・食物栄養学科 古賀祐貴子



今年の就職も厳しいとわかってはいたのですが、周りに同じ一服企業志望の人がいなかったことや、就職情報誌がなかなか送られてこなかったこともあって、人より遅く活動を始めましたが、スタートしてからは、毎日セミナーや面接に行きました。

初めて面接を受けた時は、せっかくなら考えてきた志望動機も自己PRも頭から消えて、しどろもどろでした。終わってからは、緊張のあまり胃が痛くて、二時間近く喫茶店で休んでいました。二度目からはこんなことはありませんでしたが、第一志望の企業でなくよかったですとつくづく思いました。

私が内定を頂いたところは二次面接までしかなかったのですが、七月初めに決まりました。面接は集団面接で、いっしょに受けた人はみなきはきとした人たちでした。私の隣の人は志望動機の答えが難しく、私のは簡単すぎるかもと不安になりました。発言の時には声が震えていましたが、ちゃんと視線をそらさず、笑顔で好印象を与えるようにかけました。

「何故栄養士にならないのか」とどこに行っても質問されましたが、「いろいろ人と出会い、様々な知識を学びとることが自分の視野を広げることにつながると思います」と答えて来ました。

内定が決まった二週間ほど前までは、ちょうど三、四社落ちた頃で、かなり落ち込んでいました。他の会社を開拓しなければならぬとも思いましたが、電話をするのも怖くて、活動はもうできないと思ってました。ストレス解消に姉と二人でカラオケに行き、気分が切りかわりました。落ち込んだ時は、カラオケでも何でもしてストレス解消すると、気持ちの切り換えになって、いいですよ。新四年生の方、がんばってくださいね。

古賀祐貴子さんの活動報告

時期	活動	感想
4年生 4月	情報誌が届く 資料請求書を出す 合同企業セミナーに参加 葉書を出して2週間以上たつた企業に電話し、セミナーの日程を聞いて予約	情報誌が届くまで待つていた私は4月半ばに葉書を出し、学生課に遅いといわれた。葉書は去年の情報誌や他の友達に見せられてもらった企業に出した方がいい。合同セミナーはほとんど毎日あったので私はこまめに参加していた。
5月	企業の単独セミナーに参加 または会社訪問(ほしざき) 願がければ合同セミナーに参加 初めての面接 不合格履歴書が戻される 4月同様、電話をしてセミナーの日程を聞く	セミナーではアンケートをよく書かされる。志望動機や自己PRを書くのが初めての時は焦った。セミナーには前準備が必要である。いきなり筆記試験があるところも多いので、一般常識をある程度勉強しておいた方がいい。
6月	内定先の一次面接 内定先の二次面接 3、4社たつにつけて落ちる 他の企業を開拓するため1日15社くらい電話しすでに面接にはいっているのを断られるのがほとんど	5、6月はセミナーと面接の繰り返しで、履歴書が大変。各種証明書の受取や報告など、セミナーと大学を行ったり来たりした。学生課には情報や企業について色々教えてもらいお世話になった。
7月	1日に内定を頂く 就職活動終了	内定をもらった頃、他社から一次二次合格の電話がいくつも入ったが、内定先が第一希望だったためお断りした。もう疲れて、活動したくないという気もあった。

子どもの心(17)

児童学科・幼児教育科 講師 笠原正洋



「私たちは、子どもがひとり遊びをしている時には目をダンボにして子どもと関わっているのですよ」とある保育園の副園長先生が話してくださいました。実際、子どものひとり遊びをつい見てしまって、子どもから「見ないで! もう~」と怒られた人もいらっしゃるようです。子どものひとり遊びの時間を保証する、そのような保育者の態度を「目をダンボに」と表現されているのです。

部屋の片隅に子どもの背丈ぐらいの壁を作って、ひとり遊びのスペースを設けている園もあります。何でもないことのように、環境を通した取り組みや先ほどの保育者の態度には、発達的に見て実に大切な意味があります。

他人からの言葉や励ましによって、何かしら主体的な意欲が削がれてしまう。ひとり遊びを大切にすることの理由に、子どもの内発的なやる気を阻害しないことがあげられるでしょう。

また私たちは、「息が合う」という言葉で人間関係を表現します。「息が合って」いる時には、お互いのからだの動きが同調し、リズムが合っています。しかし子どもは、最初から相手に合わせて自分の言葉やからだを柔軟に調整できるとは限りません。言葉とからだの調整は急激に発達する3歳から5歳までは、特にそうです。そのような時、ひとり遊びが大切な意味を持つのです。仲の良い友達との口げんかを、ひとり遊びの時にやりなおすことが観察されたりしますが、それは相手のペースに惑わされずに自分の言葉やからだを調整するリハーサルの現れなのです。

ひとり遊びは、形だけ見れば相手との関係を断絶しているように見えるのでしょうか。でも子どもは相手との関係を、ひとり遊びの中でも常に志向しています。「目をダンボに」この言葉が保育の場で使われる時には、このような大切な意味がこめられているのです。

心の距離はもっと縮められる

福岡県韓国教育交流団参加

内 菌 敬 美 (左から2番目)
花 園 真 由 子 (右端)
児童学科・児童教育専攻



この事業は、福岡県内の大学で教職課程を履修する大学生と、韓国教育大学の学生とが互いの国の土を踏み、交流することで、両国の相互理解と友好親善の推進を目的とするものです。
五泊六日間の主な日程は、ソウル・清州・慶州・釜山といった都市の視察と韓国教育大学の研修でした。韓国教育大学滞在中は、附属幼稚園、小・中学校、教育庁の訪問等、個人的な旅行ではなかなかに経験できない、貴重な体験をすることができました。
その中で最も印象深かったことは韓国の学生との交流です。意見交換会では、「国際化における教師の役割」というテーマを通して、国という枠を超えて、教育のあり方は共通のものであるということを再認識させられた気がします。
彼らは研修づくめの私たちのわずかな時間を見つけては、

私たちが早朝スーツに誘ってくれたり、学生寮や学内を案内してくれたりしました。送別夕食会では、別れを惜しみ涙を流した人も少なくありませんでした。
よく、「近くて遠い国」といわれるのが両国の関係です。私たちも韓国に行ったり、韓国の学生と会うまでは、不安のほうが大部分を占めていました。しかしこの事業に参加する機会に恵まれ、実際に自分の目で見て確かめることで、私たちは、日本と韓国は地理的な距離は変えられなくても、心の距離はもっと縮められることを確信しました。

このような気持ちを持ったのはすべての団員に共通のものだと思います。そして、これからの事業に参加する後輩たちも、きつと同じように思うことでしょう。
両国の間にできた友情という灯を大事に温め続けたいと思います。



▲送別夕食会(韓国教育大学校にて)

【福岡県韓国教育交流団】

10月17日~10月22日、将来教職を目指す福岡県の大学生10名が、福岡県韓国教育交流団として、韓国教育大学校(大韓民国 忠清北道 清原郡)を訪ね、交流を行った。スケジュールは、ソウル市、慶州市で文化史跡、施設を見学し韓国の歴史や文化を学んだ後、3日間韓国教育大学校に滞在するというものだ。韓国教育大学滞在中には大学施設の見学や特別講義受講、一般講義視察をはじめ、附属国民学校、附属中学校、忠清北道教育庁を訪問した。

大学院修了

研究はおもしろい

(福岡女子短期大学食物栄養科助手内定) 栄養生化学部 庄司陽子

私の修士論文の主題は、糖質の代謝酵素であるグルコース-6-リン酸脱水素酵素活性におよぼすグルタチオンの影響でした。そこでグルコース-6-リン酸脱水素酵素活性へのグルタチオンの直接の影響を調べるために、ラットの肝細胞を用いることにしました。
実験を振り返ってみると、培養肝細胞を用いたので、その調製法などを指導していただいた助手の先生が退職された時には、大学院に進学したばかりの私にとって、手探り状態になり、半年近く試行錯誤を重ねながら進めたことを思い出します。
そして、培養肝細胞からRNAを取り出す操作では、文献から方法を探し出し、実験に用いられるようになるまで、再現性を確認するための予備実験を繰り返したことなど、様々な困難がありました。
大学院生としての生活は、ひたすら目標に向かって一生懸命に努力し、研究に打ち込む毎日でした。
しかし、生きている細胞を使って、実験を開始する、

お知らせ

平成七年度『生楽金』募集について

—大学同窓会から—

自分自身を高め、大学生活をより楽しく、充実したものになりたいと思っっている大学生を、大学同窓会は支援致します。

下記の内容で募集しますので希望者はどんどん応募下さい。

- (1) 総額五十万円
(2) 募集人数 若干名
(3) 応募方法

企画レポートに左記のことを二〇〇〇字以内にとりまとめ、大学同窓会事務局に提出してください。

- いつ 期間
どこで 場所
だれが 個人/グループ
何をやるのか 目的
なぜ 理由
どんな方法で 理由
いくらかかるか 必要経費

- (4) 募集期間
平成七年三月下旬~五月下旬までとし、発表は六月下旬に提示します。
(5) 選考方法
大学同窓会の「生楽金選考委員」で審査・決定します。但し、選考基準にみたなければ該当者無しの場合もあります。
(6) テーマの内容
あそび感覚が高いもの
1、面白いもの
2、他者を愉快にするもの
3、創造性があるもの
4、共感できるもの
自己の可能性を拓けるもの
他者(ヒト)の役に立つもの

上記の...の要素すべてを含む企画内容が望ましい(選ばれた人へ)
原則として『生楽金』は一年間に限り無償で支給する。
受給者は、報告レポートを必ず決められた期限までに提出すること。(提出なき場合は全額返済すること)

卒業・入学のシーズンに

「リサイクル掲示板」設置

一月二十三日から第三学生ホールに、リサイクル情報の掲示板を設置しています。譲りたいものがある人、また欲しいものがある人は、掲示板をぜひ利用して下さい。



指導者として、学外から、裏千家茶道の福岡支部で監査をしていらつしやる中山宗辰先生をお招きし、茶道のお点前をはじめとして、礼儀作法を分かりやすく楽しく教えていただいています。ですからたとえ茶道を全く知らない人でも大丈夫。現に、私達のほとんどが初心者でしたが、今では茶道に親しみを持つことが出来、段々と上達してきています。

霜月祭では毎年、中日が後夜祭に茶会を催して、美味しい抹茶とお菓子で、おもてなししていますが、私達のお点前で茶道の雰囲気味わっていたら幸いです。
なお卒業時には、お免状がもらえるという特典もあります。

短大茶道部

指導者 中山宗辰先生
顧問 小山逸雄助教授
活動日 毎週水曜日
部員 20名



卒業時には、

お免状が

もらえるという

特典つき





2月 サッカー部キャニオンカップ

12月15日 クリスタルハーモニー定期演奏会



12月10日 マンドリンクラブ定期演奏会

12月 短大女子バレーボール部 四大学対抗同好会試合優勝



12月 バドミントン同好会 九州学生愛好会連盟団体戦優勝

ときめきふれあいクルーズ

大学・食物栄養学科3年 寺野下 真美

まず、私が青年の船で訪れた地域「広州・深圳」について書きま

す。広州は、紀元前から栄える華南最大の都市と紹介されていますが、私から見たこの街は「今から発展するだろう」と感じられる街でした。ある人によると「戦後の日本の風景に似ている」という声も。実際にここをたいた街なので

す。車と自転車と人が無秩序に通る、場所によってはほこりが舞い、都市環境は良いとは思いませんでした。



たものです。広州の人々は、暮しが不安定な上、最近の急激な都市化に伴って、多少感覚的なずれが有り、とまどいました。しかし、外国語学院の学生さんはとても親切で真面目で、私達を快く街へ案内してくれました。

次日は深圳に向かいました。深圳は中国の中の経済特別区であり、ここは本当に中国かと思わせる程の街並みでした。自転車は少なく、自動車が走りまわり、高層ビルは建ち並んでいます。でも商業化・観光化が進んでいる反面おもしろいことに、近代的ビルの裏通りには広々とした田畑が広がって、農業が行われているのです。私は、深圳大学との交流がきっかけで、英文科の女学生と仲良く

昨年十一月に開催された第二十回霜月祭のポスターが、東洋インク主催による第七回全国大学祭ポスターコンクールで、奨励賞を受賞。学園祭実行委員会に対して表彰状と奨学金が贈呈された。ポスターの原画を担当した小野祐子さん（児童教育学専攻二年）は、「ちょうど学園創立四十周年の年でもあったし、その歴史から昔の懐かしさを出したら、と考えました。原画からポスターにデザインするのは、パンフレット作成

学園祭のポスターが 全国コンクールで入賞

を担当したパートの皆と知恵を出し合いました。大変だったけど、いい記念になりました」と、学園祭実行委員を代表して、受賞の喜びを語ってくれた。



作者から

「めんたいこ」を使って美味しいおかずを作れないかな、と思って考えたのが「魚のたまご」です。名前だけで聞くとどんな料理なの？ と思われるかもしれませんが、いたって簡単。中心にめんたいこをおき、そのまわりを具入りのいり卵（にんじん・干しいたけ・グリーンピースを細かく切ったもの）で包み、外側を白身魚でくるんで蒸し、最後にくずあんをかけて食べます。食べていくうちに、段々いり卵のものが飛び出してくるのでこの名前をつけました。調理実習で学んだことを生かすことができた良かったと思いました。

料理コンテスト入賞

大学・食物栄養学科3年 篠塚 えりこ

料理コンテスト入賞 めんたい料理コンテストが、西日本リビング新聞社の主催で行われ、本学学生の篠塚えりこさん（食物栄養学科三年生）が「アイディア賞」に輝きました。このコンテストは、めんたいをテーマにして、料理を作るもので、応募総数四百九十三通の中から選ばれた入賞の十作品、最終コンテストが、平成六年九月二十四日、お米ギャラリー天神でおこなわれ、篠塚さんの作品が「魚のたまご」という、楽しいネーミングとアイディアで入賞しました。



くずあん だし汁140cc/みりん大さじ1/うすくちしょう油大さじ1/砂糖小さじ1/片栗粉小さじ1/水小さじ1

■作り方 ①魚は観音開きにし、塩と酒で下味をつける。②にんじん、生しいたけ、絹さやは7〜8ミリのあられ切りにして、油をひいた鍋で炒める。そこへ割りほぐした卵を流し入れ、半熟のいり卵を作る。いり卵は皿に取って

冷ましておく。③魚の水気を取り、身の部分に片栗粉をつける。④ラップに魚をのせてその中に明太子を包み込む。これを10〜15分蒸す。⑤くずあんはだし汁にみりん、うすくちしょう油、砂糖を入れて煮立て、水溶性片栗粉でとろみをつける。蒸しあがったら器に入れ、くずあんをかけておろし生姜と木の芽を飾る。

なりました。彼女は勤勉ですばらしい女性です。いつも彼女の手紙からは、中国という異国なのにとっても近い親近感を覚えます。映画や就職のこと、そして恋のことも幅広く広い内容で交流を続けており、私はこれを大事にしています。青年の船から学んだことはたくさんありました。しかし私は、青年の船だけが価値ある経験だとは思いません。つまり、普段の生活や学校生活の中でも、何事にも挑戦し多くの経験を積むことが、これからの自分の人生に影響を与えてくれると、信じています。

福岡県青年の船

中国・香港コース

平成6年11月6日〜16日の11日間、福岡県の若者達が洋上に集い船内生活を共にしながら、福岡県と地理的、歴史的に深く結ばれている中国、世界の貿易、金融センターとして発展を続けている香港を訪問し、現地青年との交流、交歓や施設訪問、見学を行った。

ベルリンフィル安永徹氏の 演奏を目の前で

学内演奏会

第十三回学内演奏会は、去る十月二十四日、音楽館多目的ホールにおいて、ヴァイオリン奏者でベルリンフィルハーモニーの第一コンサートマスターである安永徹氏とピアノの市野あゆみさん（ベルリン芸術大学講師）を招いて開催された。世界第一級の演奏家による演奏会とあって多目的ホールは学生、教職員で満員となった。

ベートーベン作曲「ロンドリーノ」に始まった演奏会は、安永氏による楽曲解説、作曲者の紹介、演奏に関わる話などを挟みながらラフマニノフ、シュニツケ、クラ

イスラーなどの作品が演奏された。特に、曲名が元は「ピアノソナタ、ヴァイオリン付」であったことを紹介されたベートーベン作曲「ヴァイオリンソナタ第五番へ長調Op.24」では、安永氏と市野さんによりヴァイオリンとピアノの役割等について良い例、悪い例を實際に演奏し、分かり易く解説された後、全楽章の演奏となり、ホール全体に深い感動の響が広がった。

座席数約四百名の小ホールで世界第一級の音楽家の演奏を身近に見聴くことができたすばらしい演奏会であった。（文責/児童学科・三好隆三）

阪神大震災

新年を迎えた早々、一月十七日早朝に起こった兵庫県南部地震は、神戸市と淡路島を中心に死者五千名以上という大惨事となった。

テレビ、新聞、ラジオなどで報じられる被災地の様子には、驚きとともに、被災者へのこころからの同情がこみあげるものであった。

直後から様々な救援活動が、行政機関や民間ボランティアなどで開始され、また、救援物資や義援金が全国から届けられているが、本学園でも、学生や教職員の間で支援運動が検討され、直ちに義援金が集められた。

- 本学園関係の支援状況は次のとおり。(三月二日現在)
- 大学・短期大学教職員一同 五十七万三千六十円
- 大学学友自治会 十三万四千七百円
- 短期大学学友自治会 十七万七千七百円
- 女子中・高校職員会 三十六万六千九百五十円
- 女子中・高水仙会(生徒会) 二十二万七千七百円
- 三陽中・高校職員・生徒 二十六万九千七百六十四円

中村学園事業部
食料 約十万円分
中村学園事業部職員会
五十九万六千六百円

この他、学生の中には、クラスで義援金を贈ったところもあった。

「善意の和」広がる

調へによると、同地区出身の在生には、大きな被害を受けた者は居なかった模様。

また、一般人学試験の願書受付中の震災というところもあって同地区からの志願者の被害が心配されていたが、二月一日から三日にかけて行われた試験には、全員無事な姿を見せたことも、幸いなことであった。

神戸市の復興には、永い期間と膨大な金額を要することである。こうした被災地への援助は、一時的なものではなく、将来的にも続けていく必要があると思われる。

教職員、学生の皆さんの協力をお願いしたい。

学園祭で義援金

学園祭ガレーシセル
結果報告

平成六年十一月十一・十二・十三日の中村学園大学・短期大学学園祭で行いました。ガレーシセルにご協力いただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで募金を含めまして十九万二千五百二十四円の収益金をあげることができました。

学園祭実行委員一同、心から感謝しております。

この収益金のうち、十万円を西日本新聞民生事業団の歳末助け合いまごころ募金に、残りの九万二千五百二十四円を第三ひかり共同作業所「陶友」の新しいミニ認可施設づくり千万募金に十二月二十二日に寄付致しましたので、ご報告させていただきます。

ガレーシセルを行ったのは、昨年で三回目ですが、いろいろ不十分な点があり、皆様には大変ご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び致します。なお、今年も、昨年同様ガレーシセルを行いたいと思っておりますので、ご協力下さいますようお願い致します。

(学園祭実行委員会)

クリニック

肥満者のための健康増進クリニック 効果を上げ終了

昨年九月から、健康増進センター(中村元臣センター長)の主催により、四か月間にわたって行われてきた一般市民の皆さんを対象とした第一回健康増進クリニックが、一月二十一日終了した。

名が四kg以上の減量に成功、二名は一〇kgも減量し、スリムな体を取り戻したと大喜びだった。

クリニックは、主に食事指導と運動指導を中心に行われた。もちろん具体的な指導に入る前には、全員が健康診断を受け、からだに無理な負担をかけることが無いように、気を配っている。肥満は、



食習慣の見直しと適度な運動の継続によって解消できることを知ってもらうことが目的だが、その効果の程を文字とおり、身をもって体験した方の中には、「これまでは、食べて寝るだけの生活で何も残りませんでした。でも今では、歩くことが楽しみになりました。また毎日の献立にも気を使うよ

うになり、私だけでなく、家族の者も減量できました」と、その喜びを感想に述べておられた。今後もクリニックでは、終了者の体重のリバウンドがこないように、フォローアップの指導も続けていくことになっている。

健康増進センターでは、第二回目を三月から開始しているが、今後、五年間で二百名を対象に実施することを計画している。

食は医なり

西日本新聞で連載始まる

大学院栄養科学研究科および大学食物栄養学科の教授陣が執筆者となり、「食は医なり」のテーマで、西日本新聞の栄養科学シリーズが三月九日から始まっている。毎週木曜日、十月上旬まで全三十二回掲載される予定。

食と健康のあり方が多方面から注目されている今日、このシリーズは、それぞれ専門分野からの見解がまとめられているため、多くの方の注目を集めている。

講演会

児童学科講演会

— 青年期の心の健康 —

平成七年二月十六日(木) 本学西一号館十階大講義室にて、平成六年度の児童学科講演会が開催された。例年、児童学科三年次の学生を主な対象とした、各界からの著名人を招いての講演会であるが、本年度は、講師に精神科医として全国的に有名な浜松医科大学教授、大原健士郎先生をお招きし、「青年期の心の健康」と題しての講演であった。約二時間にわたり、人の心、および心の病気についてお話し頂いたが、大原先生の豊富な経験に基づいた判りやすい、時にはユーモアを交えてのお話であったためか、瞬間の二時間であった。短時間ではあったが、非常に有意義な講演会であった。大原先生も、「中村学園大学の学生さんにはとても良い印象を受けました。私にとっても良い思い出になりました。」



(文責/児童学科・増田 隆)

講演会

食物栄養学科特別講演会

— 「食物」の機能性 —

平成七年二月二十四日(金)、本学西一号館十階大講義室で、食物栄養学科の特別公演が催された。講師は、東京農業大学農学部栄養学部の増田 隆先生である。演題は「食物繊維の機能性」で、最近テレビなどでもよく耳にするこの話題について、約二時間講演されたが、(次ページ下段につづく)



食物栄養学科主催 特別講演会

ホールいっぱいにつめかけた学生も先生の具体的な実験結果を引き合いにした話し方に、すっかり魅了されていた。

講演は、「便(ウンチ)」という切り口で食物繊維をわかりやすく説明されたもので、食物繊維の定義から始まって、その機能と疾患の関係、何をどのようにとだけ摂ればいいのかなど、興味深い内容であった。

食物栄養学では、主に「食べる」という入口に重点が置かれがちだが、「便」という出口の視点からのこの講演は、食物栄養学を学ぶ学生にとってたいへん刺激になったようだった。

スケジュール

掲載予定月	テーマ	シリーズ回数	担当
1 3/9	食は医なり	1	中村 元臣
2 3/16・23・30 4/6	からだの仕組み (消化・吸収)	4	山元 寅男
3 4/13・20	肥満と食事	2	中村 元臣・今井 克巳
4 4/27・5/4	糖尿病と食事	2	中村 元臣・伊藤 和枝
5 5/11・18	高血圧と食事	2	中村 元臣・伊藤 和枝
6 5/25・6/1・8	動脈硬化と食事 コレステロール含量	3 (1)	中村 元臣
7 6/15・22	がんと食生活	2	廣畑 富雄
8 6/29	水と健康	1	石西 伸
9 7/6・9/13	骨粗鬆症はCaをとれば治るのか	2	谷口巳佐子
10 7/20・27	鉄欠乏性貧血	2	谷口巳佐子・城田 知子
11 8/3・10	美しく綺麗な食事	2	楠 喜久枝
12 8/17・24	脂肪酸・過酸化脂質・V.E	2	水上 茂樹
13 8/31・9/7・14	たべものの安全性	3	吉村 英敏
14 9/21・28	機能性食品	2	大村 浩久
15 10/5・12	心と栄養(倫理観)	2	樋口 公男
16 10/19	おわりに — 食同源性 —	1	山元 寅男

健康生活の ススメ(18)

食物栄養学科・食物栄養科
教授 青峰正裕



論語で孔子は、「五十にして天命を知る」と仰っしゃったとか。我国でも、全年は戦後五十年に当たるそうである。齢五十というのは一応の区切りであり、どうも何かを悟らなくてはならない、そんな年齢らしい。もっとも、孔子の時代の平均寿命は、今よりもずっと短かつたであろうから、孔子のお言葉をそのまま現代人に当てはめることは少々無理があろうが、「天命」とやらを知らなければならぬ年齢に、筆者も何時しかなつた。犬、猫でも歳はとるものであるが、歳をとった後は死が持っている。死後は肉体を構成する各臓器、器官、組織は最終的には元素のレベルまで分解されるであろう。要するに死んだ途端に只の物体と化すだけとしか筆者には思えないのである。

前置きが長くなったが、筆者が悟つた「天命」とは、所詮、人生短いだから己の欲するように生きよということである。嫌なこと何を我慢することであろうか、ということに尽きる。つまり、ストレスを出来るだけ溜め込まないことである。そのためには腹を立てなければ良いのであろう。そのためには、女性特有の甘えと我愚をこり押しされる方々にも、ここは大学つまり良識の府ですよ、とやさしく諭し、生徒、生徒と自分達のことを呼ぶ学生さん達にも目くじら立てること無く接し、後ろに人が歩いていても一瞥しただけでゆっくりと廊下を横一列になって歩く学生さん達にも、声を荒げること無く、ちょっと通してね、と言って路を譲って貰い、等々、等々を実行せねばならない。嗚呼、健康であろうとする事の難しさよ。

最後にやはり論語の一節を原文で。君子食無求飽、居無求安、敏於事而慎於言、就有道而正焉。

学校法人 中村学園 創立40周年 記念式典・記念行事開催

新聞広告



園四十年誌の発刊とC・Iの成果として学園のシンボルマークとロゴタイプを制定したが、式典において中村理事長から報告された。

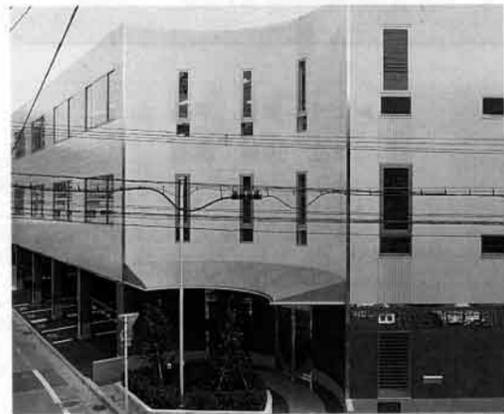
本学園は、この十年間に中・高一貫教育の男子校として中村学園三陽中学校・高等学校、大学院栄

教職員用 バッジ作成



また、施設面においても大学キャンパスに十階建ての西一号館を建設したのをはじめ、佐賀県富士町にセミナーハウスも設立するなど、教育環境の充実ぶりは目ざましいものがあつた。

この新しい本部事務所は、西日本全体で百四十カ所を越える病院などの事業所で働いている、事業部職員にとってシンボリック的存在となる。事業部には本学の卒業生も多数勤務。その収益から毎年三千万円以上が、大学・短大の教育・研究のために還元されている。



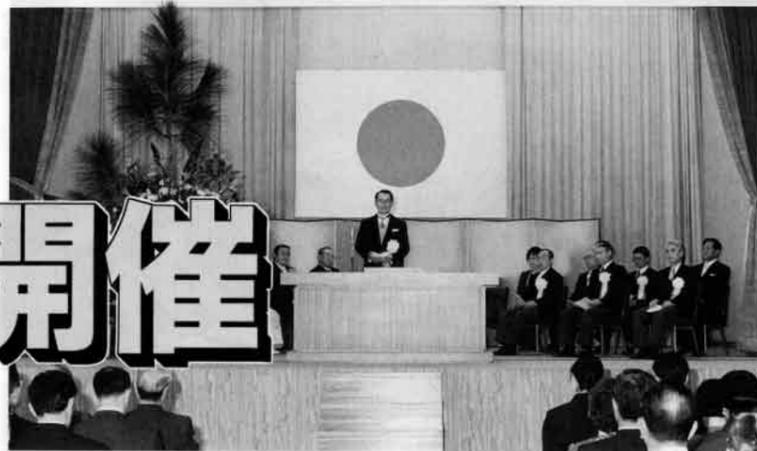
40周年誌発刊



養科学研究科、及び、既設の女子高等学校とともに一貫教育を行う中村学園女子中学校を開設するなど、総合学園としての体制を整えてきた。

事業部のシンボル誕生 本部事務所新築

学校法人中村学園のユニークな収益事業部門である中村学園事業部が、昨年で三十五周年を迎えた。これを機に老朽化していた本部事務所が新築された。平成六年十二月二十五日に竣工式が、平成七年二月二十二日に落成式が行われた。



シンボルマーク制定

九月二十五日、中村学園の四十年を記念した教職員レクリエーション行事が開かれた。大学・短期大学、女子中学・高等学校、三陽中学・高等学校、あさひ・彦岐幼稚園それに事業部が参加して、大濠ボウルでボウリング大会、中村学園大学ではテニス大会と卓球大会、太宰府周辺ではウォークラリーが行われ、好天の中、家族づれなどで楽しんだ。



参加人数は二百八人。中村学園大学・短期大学はテニス大会を担当した。

さわやかな一日、 学園全体で楽しんだ記念行事

未来へ飛躍するために

四十周年記念式典と記念祝賀会

学校法人中村学園は、創立四十周年を迎え、昨年十一月十一日に記念式典並びに祝賀会を開催した。午前十時から体育館で行われた式典には、来賓、学園関係者、学生・生徒ら約千人が参加。中村量一理事長は、式辞の中で、「四十周年を迎えることができたのは、ひとえに、皆様のご支援のおかげ……。今後も建学の精神を堅持し、社会の期待になお一層応えられるよう、教育の質の向上に努力します」と挨拶。

引き続き、日本私立大学協会理事・学校法人福岡歯科学園理事長 田中健蔵氏、衆議院議員 太田誠一氏、中村学園短期大学同窓会長 宮副淳子氏、学生・生徒代表 渋谷聖さん(大学学友自治会長)が祝辞を述べて式典を閉会。この後、午後からは、会場をホテル日航福岡に移して、盛大に祝賀会を開催した。



校旗作成

おめでとうございます

■全国栄養士養成施設協会
会長表彰

食物栄養学科・食物栄養科
古賀 美子 教授



栄養士養成施設に永年勤務し、栄養士養成に多大な貢献があったとして、平成六年十一月三日付けで会長から表彰状が贈られた。

■全国栄養士養成施設協会
会長表彰

栄養士課程または、管理栄養士課程を優秀な成績で卒業する学生を協議会長が表彰。
三月二十三日、左記三名の学生に対して、表彰状が贈られた。



大学食物栄養学専攻
井口由紀子さん



大学管理栄養士専攻
内野 圭子さん



短大食物栄養科
藤本 りかさん

■全国保母養成協会
会長表彰

保母養成課程を優秀な成績で卒業し、保母になる学生を協議会長が表彰。三月二十三日、幼児教育科の山口由香さんに表彰状が贈られた。



短大幼児教育科
山口 由香さん

平成6年4月

5日	入学式(大学生三百五十一名、短大生八百九十四名、計千二百四十五名が入学)
6日	新入生オリエンテーション
7日	大学院入学式(十名入学)
11日	大学・短期大学講義開始
14日	新入生宿泊研修(12日)
17日	学園創立記念式典
21日	学園創立記念日
22日	リーダー研修(12日)
5月	学園創立記念式典
12日	学園創立記念日
17日	リーダー研修(12日)
21日	リーダー研修(12日)
6月	中学校・高等学校教育実習(11日、大学児専3年)
13日	学校給食・事業所実習(18日、大学食専・管専3年)
13日	施設実習(22日、大学児専4年)
13日	附属幼稚園実習(27日、大学児専3年)
25日	幼稚園実習(25日、短大幼教2年)
7月	就職求人票公開
13日	前期講義終了
20日	前期試験開始(18/4)
29日	本学主催進学説明会
31日	「英語・文化海外研修」出版(18/26、大学2名、短大28名参加)
8月	キャンパス公開
1日	施設実習(9/12、短大幼教2年)
9月	保育所実習(12日、大学児専3年)
2日	情報処理センター夏期講習会(16日)
3日	公開講座(10/29)
5日	病院給食・事業所実習(10日、短大食物2年)
13日	大学院第一次入試
21日	後期講義開始
24日	小学校教育実習(10/22、大学児専3年)
10月	後援会地区連絡会開始(10/30)
1日	アジア栄養科学ワークショップ
2日	リーダー研修(13日)
3日	附属幼稚園実習(18日、大学児専4年)
3日	幼稚園実習(17日、大学児専4年、短大幼教2年)

Dramatic キャンパス—この1年の動き

10月	24日	保育所実習(14日、大学児専3年)
10月	24日	施設実習(12日、大学児専3年)
10月	17日	保健所実習(21日、大学管専4年)
10月	19日	就職に関する地区連絡会開始(13/21)
10月	24日	保育所実習(13/18、短大幼教1年)
10月	27日	病院給食実習(13/4、大学食専・管専3年)
11月	7日	大学推薦入学選考・短大家政科指定校推薦入学選考
11月	11日	第28回霜月祭(13日)
11月	14日	大学推薦入学選考・短大家政科指定校推薦入学選考合格発表
11月	26日	短期大学推薦入学選考
12月	3日	短期大学推薦入学選考合格発表
12月	17日	リーダー研修(4日)
12月	22日	大学編入学選考
12月	31日	講義終了
平成7年1月	9日	講義開始
1月	24日	後期講義終了
1月	30日	大学院修士論文発表会
1月	31日	大学管専卒業研究発表会
2月	1日	大学試験入学選考
2月	2日	短期大学試験入学選考(食物・幼教)
2月	3日	短期大学試験入学選考(家政)
2月	7日	後期試験開始(17日)
2月	10日	大学・短期大学試験入学選考合格発表
2月	16日	児童学科講演会
2月	22日	大学児童学科卒業論文発表会(12日)
2月	22日	大学食専卒業論文発表会
2月	24日	食物栄養学科特別講演会
3月	23日	大学院修了式(五名修了)
3月	24日	大学・短期大学卒業式
3月	24日	(大学生三百三十八名、短大生八百四十三名、計千八百八十一名卒業)
3月	24日	卒業パーティー(大学・児童学科 本学第二学生ホール)
3月	24日	卒業パーティー(大学・食物栄養学科 ホテル日航福岡)
3月	24日	謝恩会(短大・食物栄養科 博多全日空ホテル)
3月	24日	謝恩会(短大・幼児教育科 ホテルハイアット)
3月	24日	卒業パーティー(短大・家政科 ホテルニューオータニ博多)



2月1日に行われた中村学園大学の一般入学試験。大雪による交通機関の乱れで試験開始時間が1時間延期された。

三好 隆三 教授
ホルン・リサイタルを開く



児童学科・幼児教育科の三好隆三教授が去る十二月十九日、福岡市天神の福銀本店大ホールで、第十一回ホルン・リサイタルを開催した。

約五百名の聴衆が、岡本えりさん伴奏のピアノで演じられるウィーンホルンによるバロック時代の舞曲、ウィーン古典派の協奏曲などに静かに聞き入った。また、日本では珍しい長さ四・五メートルもあるアルプスホルンを使った演奏にはアルプス地方の、のどかな風景を思い浮かべた。師走の慌ただしい中であって、しばし時間を超越させるような、心温まる演奏会であった。

1冊の本

「誰のために愛するか」

家政科 助手 木村 玲子
著者 曾野 綾子
発行 朝文堂春秋



この本は、「すべてを賭けて生きる才覚」というのがサブ・タイトルのようになっていて、とりわけ「愛」は人間生活の最大のテーマであるからこそ、すべてを賭けるだけの価値があると語りかけています。

著者は、「はじめに—その人のために死ぬるか—と問いかけています。貴女は、その時誰を思い浮かべますか? おそらく、大半の人は親兄弟、或いは連添いといった「家族」と答えるでしょう。また、恋愛中の彼女だったら、真っ先に「彼」と答える人も少なくはないでしょう。何れにしても、そこには「愛」が確かに存在しているのです。

著者は、「はじめに—その人のために死ぬるか—と問いかけています。貴女は、その時誰を思い浮かべますか? おそらく、大半の人は親兄弟、或いは連添いといった「家族」と答えるでしょう。また、恋愛中の彼女だったら、真っ先に「彼」と答える人も少なくはないでしょう。何れにしても、そこには「愛」が確かに存在しているのです。

著者は、「はじめに—その人のために死ぬるか—と問いかけています。貴女は、その時誰を思い浮かべますか? おそらく、大半の人は親兄弟、或いは連添いといった「家族」と答えるでしょう。また、恋愛中の彼女だったら、真っ先に「彼」と答える人も少なくはないでしょう。何れにしても、そこには「愛」が確かに存在しているのです。

結婚生活をユーモラスに綴りながら、恋人や家族への愛にはじまり、グロリーバルな人間愛にまで思いを馳せる、人間が愛しくなってくるエッセイ集を読んてみたくなりましたか?

著者の青春、恋愛、結婚を思いとどまらすべきである。」と、自分が一生をかけて悔いのない道を見つけてなければならぬと語っています。

学生レポーター
募集!

広報誌委員会では、学生のみさんの身近な話題や、行事などを取材してくれる学生レポーターを募集しています。興味のある人は直接もしくはハガキで「企画広報室」までご応募ください。

◆問い合わせ・応募先◆
〒八四一〇一 福岡市城南区 別府五七七一
中村学園大学・短期大学
「企画広報室」レポーター係

読者のみな様へ

広報誌セロリも、二十号を発行することができました。さらに、よりよい誌面づくりのために、みなさんの声をお聞かせください。ご意見・ご感想・情報他、何かありましたら「企画広報室」までお知らせください。

海外出張の記録

(氏名・職名・①訪問国・期間) ②目的

- ▶権藤 與志夫 教授
 - ①韓国 (H6. 10/19~10/22)
 - ②韓日海峽圏未来フォーラム参加

Campus 往来

H 6. 12. 12
韓国光州市の光州大学から23名が教育研修のため本学を訪れた。

教職員の動き

▷退職
(平成6年12月31日付)
企画広報室員 古城 五百合(旧姓 東)

山元 寅男 学長
三成 由美 講師

- ①中国 (H6. 12/8~12/11)
- ②上海中医薬大学との学術交流協定締結のための予備交渉

山藤 圭子 教授

- ①アメリカ (H7. 2/5~2/11)
- ②Gordon Conference 研究発表



ユニバーシアド福岡大会/開・閉会式イメージイラスト

国境をこえた学生のオリンピック、 いよいよ今年8月開催!

ユニバーシアド福岡大会では、世界130の国や地域から6000人を超える選手、役員等が福岡に集います。国際都市・福岡を舞台に、これまでにない規模でくりひろげられる競技に、すばらしい記録への期待も高まっています。

〈開催期間〉1995年(平成7年)8月23日(水)~9月3日(日)の12日間

〈実施競技〉12競技/陸上競技、バスケットボール、フェンシング、サッカー、体操、競泳、飛込、水球、テニス、バレーボール、柔道、野球

〈競技会場〉24会場(福岡市21、宗像市1、春日市2)

スポーツは かるく国境を越える

1995年ユニバーシアド福岡大会

(1995年8月23日~9月3日)